

日 時：令和 3年 5月 8日（土）13：30～16：30

場 所：オンライン開催

出席者：綾部園子会長，新井映子筆頭副会長，高村仁知副会長，平尾和子副会長，中村恵子，佐藤靖子，飯田文子，阿久澤さゆり，数野千恵子，小西史子，名倉秀子，磯部由香，和泉秀彦，坂本薫，菊崎泰枝，升井洋至，岡本洋子，三成由美，宮藤章（以上理事19名）藤井恵子，峯木眞知子（以上監事2名）

欠席者：五島淑子，久木野睦子，郡田美樹，酒井宏子，三宅裕子（以上理事5名）

本日の理事会は，定款第33条理事の過半数の出席（理事24名中出席19名，欠席5名）を満たし成立。

【配付資料】

資料1：一般社団法人日本調理科学会 2020年度第4回理事会議事録（案）

資料2：一般社団法人日本調理科学会 2021年度第1回理事会報告（刊行委員会）

資料3：同（創立50周年記念出版委員会）

資料4：同（次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会）

資料5：会長指名理事1名の辞任に伴う新理事選任の件

資料6：2020年度事業報告

資料7：2020年度収支決算（貸借対照表）

資料8：2020年度収支決算（正味財産増減計算書）

資料9：監査報告書

資料10：2020年度支部事業報告

資料11：2020年度支部決算報告

資料12：2021年度支部事業計画案

資料13：2021年度支部予算案

資料14：2021年度支部交付金計算書

資料15：2021年度（一社）日本調理科学会賞受賞候補者選考結果の報告

資料16：2021年度代議員総会，家庭料理研究委員会のお知らせ，講演会について（案）

資料17：2022－2023年度理事候補並びに代議員支部別選出人数表

資料18：一般社団法人日本調理科学会若手研究者発表奨励賞規程P.16

資料19：一般社団法人日本調理科学会2021年度大会のご案内

資料20：日本調理科学会2021年度大会収支予算（案）

資料21：大会招待者リスト案

資料22：2021年度事業報告会次第案及び2021年度学会賞授与式次第案

資料23：2021年度9月からの新企画について（案）

回収資料：新入会員申込者

1. 議長，議事録作成人，署名人選出

前例により，議長は綾部会長，議事録作成人は菊崎庶務担当理事，議事録署名人は綾部会長，新井筆頭副会長，峯木監事，藤井監事とする。

2. 前回議事録確認

2020年度第4回理事会議事録（案）（資料1）を確認した。坂本近畿支部長より，【審議事項】(5) 2022年度大会の件において，「近畿地区の他大学とする」「近畿支部の他大学とする」をともに「近畿支部の大学とする」へ修正要請があり，了承された。また，綾部会長より，【報告事項】(5) COVID-19対策ワーキンググループからの報告の件で，「2020年度後期終了後，再度，アンケートを実施し，検証する予定である。」とあったが，実際には「検証」は実施しなかった旨の補足説明があった。

3. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

綾部会長より，前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があり，新井筆頭副会長は庶務・編集担当として，高村副会長は情報管理・会計担当として，平尾副会長は企画・広報担当及び家庭料理委員会

の担当として、会長を補佐し職務を執行してきたとの報告があった。

(2) 常置委員会からの報告の件

1) 編集委員会

新井筆頭副会長より、論文審査状況について報告があり、詳細は審議事項で説明するとのことであった。

2) 情報管理委員会

高村副会長より、ホームページの管理やメール・ニュース配信等の報告があり、詳細は審議事項で説明するとのことであった。

(3) 特別委員会からの報告の件

1) 刊行委員会

綾部会長より、資料2に基づき、クックリーサイエンスシリーズへの応募条件の変更について報告があった。変更点は次のとおりである。①著者3名を上限とする共著を可能とする。②異なるテーマであれば複数回出版を可能とする。ただし、執筆責任者は一回限りとする。③執筆責任者は学会員であること、ただし他の著者は非会員でも認める。④在職中・退職後に関わらず応募を可能とする。⑤2025年12月までに提出された原稿が出版対象であったが、定期的刊行（1年に2冊程度）を条件にその期限を外す。

2) 規程委員会

綾部会長より報告があり、詳細は審議事項で説明するとのことであった。

(4) 研究委員会からの報告の件

1) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

綾部会長より、資料3に基づき、「伝え継ぐ 日本の家庭料理」（全16巻）の出版により、第5回「食生活ジャーナリスト大賞（食文化部門）」を受賞した旨報告があった。授賞式は3月29日、日比谷図書文化館で行われた。

つづいて平尾副会長より、資料4に基づき報告があった。2021年度大会では、eポスター及びポスター掲示の併用で実施すること、4月23日時点で37都道府県より参加申し込みがあったこと、大会2日目に意見交換会を実施する予定であること、2018・2019年度ポスターデータを基にCDを作成・配布することの報告があり、また学会誌投稿のための特別審査を継続する予定である旨報告があった。

2) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

綾部会長より、コロナ禍により活動を中止しており、2021年度大会においてもデモ調理は実施しないが、NPOキャンパーとともに支援づくり体制について検討していく旨報告があった。

(5) 会長指名理事1名の辞任による交代の件

綾部会長より、資料5に基づき報告があった。会長指名理事の酒井宏子氏から会社内人事異動により退任申し出があり、本理事会をもって辞任による退任となることが報告された。また、後任については、6月6日の代議員総会で選任される旨の説明があった。

【審議事項】

(1) 新入会員承認の件

綾部会長より、回収資料に基づき、令和 3年 2月 1日～令和 3年 4月 30日の新入会員(正会員27名、学生会員4名、団体会員1団体)について説明があり、確認を行って承認された。

(2) 2020年度事業報告承認の件

資料6に基づき、2020年度事業報告が提案され、審議を行った。庶務関係は新井筆頭副会長、企画・広報関係は平尾副会長から説明がなされた。また、常置委員会関係では、編集委員会に関する内容について新井筆頭副会長より、2020年度投稿数が落ち込んだため今後回復をめざすこと、投稿されたものは掲載できるように努力し、却下数を減らすことが必要であることが提案された。情報管理委員会関連については高村副会長から説明がなされた。渉外関係では、平尾副会長から生活科学系コンソーシアムの活動について、綾部会長から関連学協会との事業の共催、協賛の報告があった。研究委員会関係は綾部会長から災害時メニュー開発に関する研究委員会活動について、平尾副会長から次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会の活動について報告され、2020年度に予定していたテーマ「行事食」を2021年度大会に持ち越すことが説明され

た。特別委員会関係は綾部会長から説明があった。2.企画・広報関係(2)に関する記述で、「6月8日(日)講演会を開催予定であったが」を「6月7日(日)講演会を開催予定であったが」に修正した上で、事業報告案は承認された。

(3)2020年度貸借対照表承認の件

高村副会長より、資料7に基づき、令和3年3月31日現在の貸借対照表について説明がなされた。流動資産である現金預金が前年度から2,891,539円増額となり、正味財産合計が3,138,202円増加したことが報告された。

(4)正味財産増減計算書承認の件

高村副会長より、資料8に基づき、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの正味財産増減計算書について説明があった。前年度と比較で増減が大きかった事項として、会員数減による受取会費の減額、年次大会中止による事業収益の減額、持続化給付金による受取補助金の増額、編集委員会をZOOMで実施したことによる編集委員会費支出の減額等が挙げられた。200万円の持続化給付金を得たこと、支出が当初予定より減少したことにより、結果的に正味財産合計額の増加につながったことが報告された。

(5)監査報告

藤井監事より、資料9に基づき、事業報告書及びその附属明細書等は適正に処理されている旨の監査報告がなされた。

2020年度貸借対照表、正味財産増減計算書、監査報告について審議の結果、承認された。

(6)2020年度支部事業報告及び決算案承認の件

中村東北・北海道支部長、飯田関東支部長、磯部東海・北陸支部長、坂本近畿支部長、中国・四国支部岡本理事、九州支部三成理事より、資料10に基づき、各支部事業報告、つづいて資料11に基づき、決算案について説明があり、審議の上、承認された。また、三成理事より、会員数が減少傾向にあることから会員募集に努力している旨の報告があり、全国的にも積極的に会員募集に努力する必要性を理事会で確認した。

(7)2021年度支部事業計画及び予算案承認の件

各支部より、資料12に基づき、各支部事業計画、つづいて資料13に基づき予算案について提案があり、審議した。支部によって、予備費と次年度繰越金を計上している場合と次年度繰越金のみを計上している場合があり、統一すべきかどうかについて議論した。数名の理事から意見が出され議論した結果、支部間で必ずしも統一しなければならないという規定はないこと、支部ごとに事情があることを鑑み、統一せずに現行のままでよいという結論に達し、承認された。

(8)2021年度支部交付金配分承認の件

高村副会長より、資料14に基づき、2021年度支部交付金計算書について説明があり、審議の上、承認された。

(9)2021年度学会賞受賞候補者承認の件

新井筆頭副会長により、資料15に基づき、学会賞受賞候補者1名〔吉村美紀氏（兵庫県立大学）〕、奨励賞受賞候補者1名〔橋詰奈々世氏（宇都宮短期大学）〕、功労賞受賞候補者4名〔三森一司氏（東北・北海道支部、聖霊女子短期大学）、石井克枝氏（関東支部、元千葉大学）、小川宣子氏（東海・北陸支部、中部大学）及び小西文子氏（中国・四国支部、東海学院大学短期大学部）〕の選考過程について説明があり、審議の上、承認された。

(10)2021年度代議員総会及び講演会の件

新井筆頭副会長により、資料16に基づき、代議員総会を6月6日にZOOMミーティングで行い、採決をGoogleフォームで実施する旨の提案があった。つづいて平尾副会長より、代議員総会終了後、「次世代に伝え継ぐ 日本家庭料理研究委員会」会議の開催、講演会の開催について提案があり、審議の上、承認された。

(11)選挙管理委員会立ち上げ及び次年度役員候補並びに代議員選出人数承認の件

綾部会長より、次期役員の改選に係る選挙管理委員会（委員長 大越ひろ元会長）を立ち上げた旨の説明があり、つづいて資料17に基づき、代議員支部別選出人数について提案があり、審議の上、承認された。

(12)若手研究者発表奨励賞規程改正の件

高村副会長より、資料18に基づき、若手研究者発表奨励賞規程改正の提案があり、審議の上、承認された。大会が対面方式、ハイブリッド方式、オンライン方式いずれの方式で実施されても対応できるよう、第5条の投票方法を「大会に参加し、要旨集を持つ会員等が、投票用紙を用いて投票する。」から「大会に参加した会員等が、投票用紙を用いて又は電磁的方法により投票する。」に改正される。

(13)2021年度大会の件

1)大会について

飯田関東支部長（2021年度大会実行委員長）より、資料19に基づき、ハイブリッド方式で大会を実施する計画であることが提案され、審議を行った。COVID-19の状況により、変更がある場合はホームページに公表することが提案された。現時点の状況では、全面オンライン方式の方が無難であるという意見、早いうちに方式を決定した方が実行委員会としても準備しやすいのではないかという意見があり、方式決定は実行委員会に委ねることを承認した。

2)大会予算（案）

飯田関東支部長より、資料20に基づき、大会予算案について提案があり、審議の上、承認された。

3)大会招待者一覧（案）

綾部会長より、資料21に基づき、大会招待者リスト案が提案された。議論の結果、2020年度功労賞受賞者を2021年度大会招待者とするのが提案され、承認された。

4)事業報告及び学会賞授与式次第（案）

綾部会長により、資料22に基づき、大会事業報告時に、2019年度若手研究者発表奨励賞受賞者を報告するかどうかにについての審議提案があり、審議の結果、すでに学会誌に掲載されていることから報告を行わないことに決定された。また、今後もこれと同様とすることに決定され、承認された。これに伴い、若手研究者発表奨励賞規程（資料18）第8条3「編集委員長（副会長）は、次年度の大会の事業報告会で、受賞者の氏名及び演題を紹介する。」を削除することとなった。

(14)2022年度大会の件

坂本近畿支部長より、2022年度大会は、兵庫県立大学にてハイブリッド形式で実施する計画が提案された。現時点では、懇親会も開催する方向で考えており、科研費への応募も計画していること、今後の学会開催の新しい方式確立に寄与したいとのことであった。実行委員会も近日中に立ち上げる旨報告があり、審議の上、承認された。

(15)2021年度9月からの新企画の件

平尾副会長より、資料23に基づき、新企画のテーマを「新しい調理器具を用いた地域料理の継承・普及の試み－調理器具の変遷調査及び新旧の調理器具を用いての比較評価－（仮タイトル）」とすることが提案され、審議の結果、承認された。本テーマは、今後の調理科学の方向性を考える契機となるのではないかと、SDGsの取り組みにも寄与できるのではないかという意見も出された。今後は、6月6日の代議員総会で新企画について報告しワーキンググループを立ち上げ、本年度大会にて新企画への参加希望者を募集する予定にしている。

【その他】

(1)次回理事会の件

次回理事会は、2021年9月7日（火）夕刻にオンラインにて実施することとした。

議事録署名人	会長	綾部 園子	印
	筆頭副会長	新井 映子	印
	監事	峯木 眞知子	印
	監事	藤井 恵子	印